

第 88 回機器・配管系検討会 議事録

1. 日 時 2024 年 2 月 22 日 (水) 13 時 30 分～15 時 05 分
2. 場 所 一般社団法人 日本電気協会 4 階 C 会議室 (Web 会議併用)
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
 - 出席委員: 中村主査(東京都市大学), 古屋副主査(東京電機大学), 野元幹事(日本原燃), 行徳副幹事(日立 GE ニュークリア・エンジン), 藤田(東京電機大学), 上屋(日本原子力発電), 波木井(東京電力 HD), 久保田(中部電力), 田村(ワイロテックソリューション), 森田(四国電力), 大口(電源開発), 川幡(東芝エネルギーシステムズ), 工藤(富士電機), 小関(原子燃料工業), 齋藤(電力中央研究所), 宮崎(日本原子力研究開発機構) (計 16 名)
 - 代理出席者: 河本(北海道電力, 南保委員代理), 大江(東北電力, 秋葉委員代理), 松田(北陸電力, 辰尾委員代理), 森(九州電力, 池田委員代理), 呉(三菱重工業, 松岡委員代理) (計 5 名)
 - 常時参加者: なし (計 0 名)
 - オブザーバ: 日比野(原子力規制庁) (計 1 名)
 - 説明者: 酒井(電力中央研究所), 黒川(関西電力), 石丸(中国電力), 網野(MHI・NS エンジニアリング), 松岡(三菱重工業), 吉賀(MHI・NS エンジニアリング) (計 6 名)
 - 欠席委員: 渡邊(埼玉大学), 小江(原子力エンジニアリング) (計 2 名)
 - 事務局: 米津, 高柳, 田邊(日本電気協会) (計 3 名)
4. 配付資料
 - 資料 No.88-1 第 87 回機器・配管系検討会 議事録 (案)
 - 資料 No.88-2 原子力規格委員会耐震設計分科会 機器・配管系検討会委員名簿
 - 資料 No.88-3 JEAC4601-2021 の誤記について
 - 資料 No.88-4 『耐震設計技術指針 重大事故等対処施設編 (基本方針) JEAG4601-2015[2016 年追補版]』改定検討

5. 議事

事務局から, 本検討会にて私的独占の禁止並びに公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後, 中村主査の挨拶があり, その後議事が進められた。

(1) 資料の確認, 代理出席者・オブザーバの承認

事務局から配付資料の確認の後, 代理出席者 5 名の紹介があり, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 7 項に基づき主査の承認を得た。確認時点で出席者は代理出席者を含めて 21 名で, 検討会決議条件である分科会規約第 13 条 (検討会) 第 15 項に基づく, 委員総数 23 名に対し決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(16 名以上)」を満たしていることを確認した。その後オブザーバ 1 名の紹介があり, 分科会規約第 13 条 (検討会) 第 11 項に基づき, 主査の承認を得た。また説明者 6 名の紹介があった。

(2) 前回議事録（案）の確認

事務局から資料 No.88-1 に基づき、前回議事録（案）の紹介があり、一部を修正し正式議事録にすることについて、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づき、挙手及び Web の挙手機能にて決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(3) 委員変更の紹介

事務局より、資料 No.88-2 に基づき、変更となる委員について紹介があり、新委員候補については、分科会規約第 13 条(検討会)第 4 項に基づき、次回耐震設計分科会で検討会委員として承認後に委員となる予定であると説明があった。

- ・委員退任予定 南保 委員（北海道電力）
- ・新委員候補 河本 氏（同左）

(4) JEAC4601-2021 に対する誤記について（審議）

資料 No.88-3 に基づき、JEAC4601-2021 に対する誤記について説明を行い、耐震設計分科会に上程することについて特にコメントがなかったため、分科会規約第 13 条(検討会)第 15 項に基づき、挙手及び Web の挙手機能にて決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

主な説明は以下のとおり。

- ・資料 No.88-3 は、第 86 回資料 No.86-5 以降の誤記調査結果をまとめたもの。
- ・資料 No.86-5 からの修正は、対象誤記の追加、2021 版のみの誤記であることの追記、今後の対応の記載内容見直し、計算式チェック方法のマニュアル化、影響評価である。

(5) JEAG4601-2015[2016 追補版]（SA-JEAG）改定検討（報告）

資料 No.88-4 に基づき、JEAG4601-2015[2016 追補版]（SA-JEAG）改定検討について説明があった。

主な説明は以下のとおり。

- ・SA-JEAG の改定に向けたアンケート結果を基に、進め方を整理し、スケジュールを作成した。
- ・SA-JEAG の改定は 2025 年 9 月の原子力規格委員会での審議を目標とし検討を進める。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・今回は JEAG4601-2015[2016 追補版]（SA-JEAG）改定のスケジュールの確認と言うことでよいか。
→ その通りである。
- ・今後このスケジュールで進めて行くにあたり、主要工程に記載してある作業会や拡大作業会の活動がそろそろ本格的に始まるという理解でよいか。
→ 本格的に検討を始め、素案作りに着手していくようなイメージの工程となっており、検討のピッチを上げていかないと、今回説明したスケジュールに乗らないと思っている。
→ 最終的な書面投票の目標は 2025 年の 9 月の原子力規格委員会となっているが、早めに素案を作成する必要があることを考えると、かなり厳しいスケジュールとなるため、スケジュー

ル管理をしながら進めて行ってほしい。

→ 承知した。検討会の頻度も若干上げながら進めて行くことになるかと思うのでよろしく願いする。

(6) その他

- ・ 野元幹事より，JEAC4601 の技術評価対応について，昨年コアメンバーチームの発足を行ったが，具体的な動きがあれば再調整させていただくことの説明があった。
- ・ 技術評価対応状況について質問があり，機械学会の溶接規格の進捗状況について事務局より説明した。

以 上